

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年3月4日(2021.3.4)

【公開番号】特開2020-185431(P2020-185431A)

【公開日】令和2年11月19日(2020.11.19)

【年通号数】公開・登録公報2020-047

【出願番号】特願2020-131489(P2020-131489)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月20日(2021.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技領域内の第一入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第一抽選を実行する第一抽選実行手段と、

遊技領域内の第二入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第二抽選を実行する第二抽選実行手段と、

遊技媒体の検出に基づき普通抽選を実行し、抽選結果が所定の結果である場合に可動部材を動作させる可動抽選実行手段と、

前記第一抽選又は前記第二抽選に基づいて図柄の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、

前記第一抽選又は前記第二抽選に基づき、遊技状態に応じて異なる確率にて遊技利益を付与可能な第一特定遊技を実行する第一特定遊技実行手段と、

前記第二抽選に基づき、遊技状態に拘らず一定確率にて前記第一特定遊技よりも少ない遊技利益を付与可能な第二特定遊技を実行する第二特定遊技実行手段と、

前記第一抽選実行手段によって特定の抽選結果が導出されたことに応じて実行される前記第一特定遊技の実行を契機に遊技状態を通常の遊技状態とは異なる特定の遊技状態に移行させる特定遊技状態移行手段と、

前記第一抽選実行手段によって特別の抽選結果が導出されたことに応じて実行される前記第一特定遊技の実行を契機に遊技状態を前記通常の遊技状態と前記特定の遊技状態とのいずれとも異なる特別の遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段と、

前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を長時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を抑制する抽選頻度抑制手段と、

前記特定の遊技状態における前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を前記長時間よりも短い短時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を高める抽選頻度向上手段と、

を備え、

前記特定の遊技状態は、前記可動抽選実行手段によって前記可動部材が動作される頻度が高められていないものの、前記通常の遊技状態よりも前記第一特定遊技が実行されることとなる抽選確率が高くされており、前記第二抽選に基づいて実行されれる前記第一特定

遊技において付与される遊技利益よりも、前記抽選頻度向上手段によって前記第二抽選に基づく変動表示が前記短時間とされてから前記第一特定遊技が実行されるまでの期間に実行可能とされた複数回の前記第二特定遊技によって付与される遊技利益の合計が多くなることが望める遊技者にとってもっとも有利な抽選状態であり、

前記通常の遊技状態において前記第二特定遊技の実行頻度を抑制するべく前記第二抽選実行手段の抽選に基づき実行される図柄の変動表示として、前記通常の遊技状態において前記第一抽選実行手段の抽選に基づき実行される図柄の変動表示のうち最も長い時間の変動表示よりも長い時間の変動表示が実行されれるようになっており、

前記特別の遊技状態は、前記特定の遊技状態と異なり、前記第二抽選実行手段の抽選に基づいて実行される前記第一特定遊技において付与される遊技利益よりも多くの遊技利益が複数回の前記第二特定遊技によって付与されれることが望めないものの、前記通常の遊技状態よりも前記第一特定遊技が実行されることとなる抽選確率が高くされているとともに、前記第一抽選が実行されれる頻度が高まるように前記可動抽選実行手段によって前記可動部材が動作される頻度が前記通常の遊技状態および前記特定の遊技状態よりも高められている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上記した遊技機では、遊技の興趣低下を招いていた。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明が解決しようとする課題は、上記事情に鑑みなされたもので、遊技の興趣低下を防止可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明の代表的な遊技機の一形態では、遊技領域内の第一入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第一抽選を実行する第一抽選実行手段と、遊技領域内の第二入賞領域への遊技媒体の入賞に基づき第二抽選を実行する第二抽選実行手段と、遊技媒体の検出に基づき普通抽選を実行し、抽選結果が所定の結果である場合に可動部材を動作させる可動抽選実行手段と、前記第一抽選又は前記第二抽選に基づいて図柄の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、前記第一抽選又は前記第二抽選に基づき、遊技状態に応じて異なる確率にて遊技利益を付与可能な第一特定遊技を実行する第一特定遊技実行手段と、前記第二抽選に基づき、遊技状態に拘らず一定確率にて前記第一特定遊技よりも少ない遊技利益を付与可能な第二特定遊技を実行する第二特定遊技実行手段と、前記第一抽選実行手段によって特定の抽選結果が導出されたことに応じて実行される前記第一特定遊技の実行を契機に遊技状態を通常の遊技状態とは異なる特定の遊技状態に移行させる特定遊技状態移行手段と、前記第一抽選実行手段によって特別の抽選結果が導出されたことに応じて実行される前記第一特定遊技の実行を契機に遊技状態を前記通常の遊技状態と前記特定の遊技状態とのいす

れとも異なる特別の遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段と、前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を長時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を抑制する抽選頻度抑制手段と、前記特定の遊技状態における前記第二抽選に基づいて実行され得る変動表示を前記長時間よりも短い短時間とすることで当該第二特定遊技の実行頻度を高める抽選頻度向上手段と、を備え、前記特定の遊技状態は、前記可動抽選実行手段によって前記可動部材が動作される頻度が高められていないものの、前記通常の遊技状態よりも前記第一特定遊技が実行されることとなる抽選確率が高くされており、前記第二抽選に基づいて実行されえる前記第一特定遊技において付与される遊技利益よりも、前記抽選頻度向上手段によって前記第二抽選に基づく変動表示が前記短時間とされてから前記第一特定遊技が実行されるまでの期間に実行可能とされた複数回の前記第二特定遊技によって付与される遊技利益の合計が多くなることが望める遊技者にとってもっとも有利な抽選状態であり、前記通常の遊技状態において前記第二特定遊技の実行頻度を抑制するべく前記第二抽選実行手段の抽選に基づき実行される図柄の変動表示として、前記通常の遊技状態において前記第一抽選実行手段の抽選に基づき実行される図柄の変動表示のうち最も長い時間の変動表示よりも長い時間の変動表示が実行されるようにされており、前記特別の遊技状態は、前記特定の遊技状態と異なり、前記第二抽選実行手段の抽選に基づいて実行される前記第一特定遊技において付与される遊技利益よりも多くの遊技利益が複数回の前記第二特定遊技によって付与されえることが望めないものの、前記通常の遊技状態よりも前記第一特定遊技が実行されることとなる抽選確率が高くされているとともに、前記第一抽選が実行されえる頻度が高まるように前記可動抽選実行手段によって前記可動部材が動作される頻度が前記通常の遊技状態および前記特定の遊技状態よりも高められていることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】